

自然 「春の自然を感じる」

日時 2025年5月21日

5歳児



5月の天気の良い日、自然を感じるために、ねこじゃらし公園へ散歩に出かけました。以前公園にある小川でおたまじゃくしを見つけて、数匹観察ケースで育てていました。今日の公園は、草が茂り、ユリやデイジー、紫蘭などが咲き、いろいろな虫に出会えました。そして、小川には、おたまじゃくしは、もういませんでした。1時間ほどの滞在でしたが、子ども達は、走ったり、石垣からジャンプしたり、水に手をつけてみたりして、楽しんでいる様子が見られました。

準備物 水筒、帽子、携帯電話、カメラ

子どもの活動

子ども達は、帽子をかぶり、水筒を持ち、徒歩で、約15分のところにあるねこじゃらし公園へ歩いて散歩に行きました。前の人と間隔を空けすぎないように、道の端を歩く、横断歩道では手を挙げて歩くなど、道を歩くときの注意をもう一度思い出して歩きました。

公園へ到着すると、他の保育園の子ども達も遊んでいました。草が青々と茂り、花が咲いていました。小川のそばに水筒を置いて、奥の方へ遊びに出かけました。モンシロチョウが、ユリの間をふわふわと飛んできたのを見つけて、じーと観察する子どもの姿がありました。石垣のあるところで遊んでいた子どもが、アリの列を見つけました。「どこまで続いているんだろう？」とたどっていくと、長い木の根っここのところでアリが集まっていました。しばらくすると、「テントウムシだ」という声が出て、子どもが集まっていました。テントウムシの幼虫がいました。蜂が石にとまっているのを見つけました。また、土を少し掘って幼虫を見つけた子どももいました。シロツメ草や、桜の木の下で、桜の実を見つけた子どもがいました。帰りは、暑かったのですが、みんな保育園まで、歩いて帰りました。

子どもの様子

天気が良く、よく晴れていたなので、暑さを感じる日でした。公園に到着すると、子ども達は小川を見に行ったり、石垣のところで遊んだりしました。その中で、モンシロチョウが飛んでいるのを見つけたり、蟻が列を作っているのを見つけたりしました。蟻が数メートルの列を作っているのをたどるのは、興味深げにじっと観察して、「あ、ここに蟻の列がある」「あ、ここに繋がっている」と石垣の石の間を蟻が列を作っているのを数人で、じっくり観察していました。テントウムシの幼虫を木のベンチの間で見つけた子どもは「これ、ナナホシテントウムシだ。何を食べるのかな」と疑問を持ちました。土の中に白い幼虫がいるのを見つけた子どもは、「なんの虫かな？土の中に戻さないと死んじゃう」「この虫は何を食べるのかな」と知りたいことが膨らんでいました。また、蜂が石に止まっているのを見つけた子どもは、「蜂がいるからそこに行っちゃあだめ」と蜂が危険であることを知っていました。楽しく遊ぶ中でも、危険な虫がいることや、この虫は何を食べるのかな？ともっと知りたいという思いが本物の虫を見て、わいてきたのだと思います。

活動の振り返り

散歩に出かけるのが少し遅く、もっと早い時間であれば行き帰りに暑くて疲れることがなかったと思いました。虫がたくさんいて、子ども達は楽しそうでした。虫に興味がある子どもがたくさんいました。保育室で、カブトムシを飼っているので、幼虫の成長をみんなで見守っていきたいと思います。





